

## 令和5年度 「特色ある学校づくり対策事業」実践事例

【学 校 名】 佐世保市立広田小学校  
【所 在 地】 佐世保市立広田1丁目25番4号  
【校 長】 井上 文典  
【学 校 規 模】 32学級 児童数829名 (R5. 5. 1)  
【学校教育目標】

「本物の笑顔」かがやく広田小  
やさしく かしく たくましい子どもの育成



《小学校校舎：1～5年生》



《中学校6年生校舎：6年生》

### I テーマ

「本物の笑顔」かがやく広田小  
やさしく かしく たくましい子どもの育成

本校の目指す学校教育目標「本物の笑顔」かがやく広田小 やさしく かしく たくましい子どもの育成の具現化のために、次の5点を柱として取り組みました。

#### 令和5年度 子どもたちとの約束

「学校にわくわくを取り戻す！」

- (1) 小中一貫型教育の推進
- (2) 心豊かな児童の育成
- (3) 地域人材を生かした体験活動の充実
- (4) 課題を明確にした学力向上の推進、新学習指導要領に即した授業実践
- (5) 特別支援教育の充実を図る環境整備

## Ⅱ 実践内容

### (1) 小中一貫型教育の推進

#### ◆小中一貫型教育で【対話・協議・分担・協働】の力を育てる

#### 《6年生の中学生との学び》

- ・6年生は、中学校校舎で生活をしながら、中学生と行事などを通して交流しています。中学生の自立した姿を見て学ぶことを通して、【対話・協議・分担・協働】の力を育成することができます。



【中学生との体育大会】



【文化発表会】



【中学校部活動紹介】

#### 《中学校教師による乗り入れ授業》

- ・中学校教師による乗り入れ授業を受けることで、より専門性の高い学力を身に付ける事ができます。



【中学校教師による書写】

#### 《5年生への中学校6年生校舎説明会》

- ・5年生への中学校校舎の説明を、6年生が行います。  
6年生による説明によって、5年生は憧れを抱き、次年度からの中学校校舎での生活へ意欲を向上させました。また、6年生は、1年間の学びの集大成となる表現力、主体的に学びに向かう姿勢を存分に発揮することができました。



【6年生による校舎説明】

## 《5年生のリーダーシップ》

- ・小学校校舎では、5年生がリーダーシップを発揮し、運動会、委員会活動、クラブ活動等、学校行事はもとより、日々の学校生活において主体的にリーダーシップを発揮しています。



【5年生による応援練習】



【委員会紹介】



【縦割り活動】

広田小学校は、小中一貫型教育のよさを最大限に生かし、小中連携のさらなる充実を図り、子どもたち一人一人の成長へとつなげていきます。



## (2) 心豊かな児童の育成

①子どもたちの未来につながる揺るがない土台を、丁寧に、そして、粘り強く育てます。

### ◆広田ベーシック（はきものそろえ、返事・あいさつ、始業前黙想）

#### 《はきものそろえ》



自分のはきものについては、1年を通してよき習慣として定着してきました。

課題は、トイレのスリッパです。定着には、学年によって差がありますが、「次に使うお友達への思いやりの心」が見られる児童も、確実に増えています。

その成果を、子どもたちとともに喜び合うことを大切にし、子どもたちの「自尊感情」「集団の肯定感」を高め、子どもたちの心の居場所を広げていきます。

#### 《返事・あいさつ》



校内においては、元気で気持ちのよいあいさつが交わされています。元気な声や静かに会釈、立ち止まってあいさつなど、子どもたちは、個々にめあてをもって取り組んでいます。

課題は、地域でのあいさつですが、「気持ちよくあいさつしてくれます」「子どもたちのあいさつが気持ちいいです」といった声も多く届くようになっていきます。

礼節を身につけることは、コミュニケーションの基

礎であることを意識させ、発達段階に応じて、今後も指導を継続していきます。

#### 《始業前黙想》



授業開始前に黙想し、心を整え、学びに向かう姿勢を高める習慣が定着してきました。

今では、子どもたちが主体的に声を掛け合い、着座して黙想を始めることもできています。

学習を支えるための心と体の構えがしっかりと育ち、落ち着いた雰囲気での学習に向かうことができている。

動く力を育てるとともに、止まる力も育てていきます。

広田小学校は、「広田ベーシック」を、子どもたちの将来へつなげる揺るぎない土台作りであると捉え、今後も、粘り強く、そして、丁寧に指導していきます。

そして、自己実現のための重要な要素である、更なる学力向上へとつなげていきます。

②子どもたちのわくわくの心を引き出し、学校生活への当事者意識を高めます。

◆今年度のキャッチフレーズは、「学校にわくわくを取り戻そう」

### 《児童会の取組》

- 子どもたち自身が課題に気づき、解決のために具体的に話し合い、行動し、自分たちの学校を自分たちでよりよくしようとする、主体的かつ自治的に解決できる力が育っています。



【第1回代表委員会（6月）】



【運動会スローガン全校投票（9月）】



【あいさつ運動（12月）】

- 代表委員会における話し合いで決定したことをもとに、全校の一人一人の意見を大切にした全校投票や各委員会が連携したあいさつ運動など、子どもたちの主体性・自治力を中心とした児童会活動が展開されました。児童会スローガン「笑顔 わくわく広田小」も、代表委員会における話し合いによって決定しました。

### 《児童会のスローガン「のぼり」の作成・掲揚》

- 令和5年度の児童会のキャッチフレーズは、「笑顔 わくわく 広田小」。
- 全校から「こんな学校にしたい」という思いや言葉を募り、児童会が主体となって、作り上げたのぼりを校門から校舎へとつながるアプローチの一带に掲げています。子どもたちは、この「のぼり」を、日々目にし、わくわくの心を高め、充実した学校生活を送っています。



広田小学校は、「自分たちの学校を、自分たちで良くする。」ために、主体的に考え、具体的に行動する子どもたちを育て、子どもたちの本気を全力で応援します。



### (3) 地域人材を生かした体験活動の充実

◆地域の方々との心の交流や体験を大切にして、豊かな心を育てる

#### 《広田小見守り隊との日々のつながり》

- ・広田小学校には、児童の登下校を見守ってくださる地域の見守り隊の方々が、15名おられます。

その方々のおかげで、広田小学校では、本校児童は、誰一人登下校での事故、大きなけが、またトラブルもなく、安全に登下校することができています。

また、各地区子供会の方々の協力も得ながら、毎朝児童にあたたかい言葉かけ・声掛けを行ってもらい、児童は、地域への愛着をもって安心して過ごすことができています。



【広田小見守り隊の方への感謝の会】

#### 《地域の方との交流・体験活動》

- ・地域における様々な分野のスペシャリストを招聘した体験活動によって、児童の豊かな体験とともに、情操を高める充実した心の教育を実践することができました。



【1年生：チューリップ栽培】



【2年生：町探検】



【3年生：福祉体験】



【4年生：地域の方との花植え】



【5年生：職業講話】



【6年生：華道体験】

広田小学校は、子どもたちの「自分で考えた」「自分で決めた」「自分でできた・わかった」という体験と感動を大切にしていきます。

#### (4) 課題を明確にした学力向上の推進、新学習指導要領に即した授業実践

- ①「学級力」を向上させ、課題に対して、対話をし、相互理解を深めながら、しなやかに課題解決ができる子ども・集団を育てます。

### ◆学活で、子どもたちの「自尊感情」「集団への肯定感」を育てる

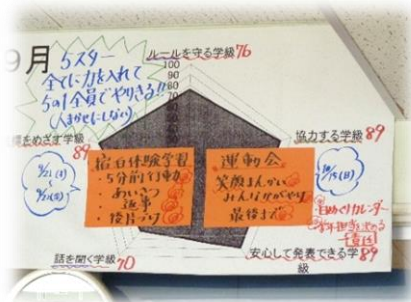
#### 《学級目標》

- 学級目標は、学級の行先表示板です。学級で一番大切な言葉であり、学級の物語のタイトルです。それぞれの学級において、常に学級目標を意識した学級経営を進め、子どもたちの心に残る一年の物語を綴っています。



#### 《学級会》

- 本年度は、『学級』を大切に、学級の課題に主体的に目を向け、『話し合い』を通して、学級力を高め、優しく強い、そして、温かな風土の学級づくりに挑戦しています。



【広田小学級力診断シート：5スター】



【2年生：学級会】



【4年生：学級会】

- 自分たちの手で、自分たちの学級・学校をつくります。

「為すことによって学ぶ」学級活動は、「主体的・対話的で深い学び」そのものです。



【2年生：お楽しみ会】



【3年生：お楽しみ会】



【5年生：お楽しみ会】



- 子どもたち一人一人の学級に対する所属感の高まりが、学級の様々な課題に対する当事者意識を高めました。



- 結果として、学力も向上しています。

＜学校生活に対する当事者意識の向上＞

- 個人としての意志決定の力（自分で決める力）の向上
- 集団としての合意形成の力（主張するとともに、折り合いをつける力）の向上

＜学力向上＞

5年生（国語＋2.6 算数＋5.1）6年生（国語＋4.0 算数－1.0）  
 （全国学力調査・県学力調査の結果より いずれも県平均比）

広田小学校は、『学級』を大切にし、学級の課題に主体的に目を向け、『話し合い』を通して、学級力を高め、優しく強い、そして、温かな風土の学級づくりを進めています。

（5）特別支援教育の充実を図る環境整備

◆子どもたちの本物の笑顔のために、個に応じた支援を大切にする

《ともに》

- 本校には、7学級の特別支援学級（知的・情緒・病弱）があります。3クラス合同の自立活動や2クラス合同のお芋パーティーなど学級間の関わりも大切にしながら、学びを進めています。合言葉は、「ともに」です。



【3クラス合同の自立活動】



【お芋パーティー】

広田小学校は、一人一人を大切にし、子どもたちの『本物の笑顔』のために、ともに歩んでいきます。



認める  
ほめる  
許す  
喜ぶ

教師の言葉が子どもの生きる力に

### 学校、家庭、地域の環境、大人の姿、言葉は「薫習」

子どもたちは、学校や家庭、地域の風を感じて育ちます。通学路、校庭に可憐に咲き、頑張っている花を見て育ちます。あいさつをする大人に囲まれて、あいさつの「心」を知ります。はきものをそろえる人を見て、物事を整えることの大切さを知ります。学校、家庭、地域の教育文化は、とても大切です。そして、これからも、それが子どもたちを包む風となり「薫習」となっていくます。

広田小学校は、今後も保護者、地域の皆様とともに、帆を張り、風を受け、「本物の笑顔」がやく未来に向かって、進んで参ります。

